

(1) 西区における地域包括ケアの推進について

資料1

<概況>

令和5年3月末現在

【人口動態、地形、生活環境等の地域特性】 ・西区は、福岡市の西端に位置し、背振山系から玄界灘に広がる。 ・耕地面積は市全体の半分以上を占め、能古島、玄界島、小呂島の3つの島を抱く。 ・地下鉄空港線とJR筑肥線の相互乗り入れにより沿線の市街化が進み、九州大学移転後、九大学研都市駅を中心に新しい市街地が形成され、令和5年度、西都北校区が新設。 【高齢者の状況（高齢化率や介護保険受給者状況）】 ・高齢化率は7区で3番目に高く、5校区で40%を超えている。 【社会資源（介護サービス事業所や医療機関、地域コミュニティの状況）】 ・区内9つの事業所ネットワークが全圏域で活動。コロナの影響で活動は縮小されていたが、地域カフェや民生委員研修等のサポート、認知症サポーター養成講座講師など、徐々に再開されつつある。 ・離島においては、医療・介護等の新規参入事業所が少なく、島内で利用できる介護サービスは限定的である。	人口（人）	203,941
	高齢者数（人）	49,986
	高齢化率（%）	24.5
	小学校区数	24
	いきいきセンター圏域数	8

<地域包括ケアに関する現状と課題>

○単身高齢者や認知症高齢者、複合課題を抱える事例が増える中、「虚弱」「認知症」「キーパーソン不在」など、支援を要する高齢者の早期発見・早期支援に取り組むとともに、「ACP」「フレイル予防」「高齢者の虐待防止」等のさらなる周知・啓発が必要である。

○「ACP」については、「福岡市地域包括ケアアクションプラン」の重点テーマに掲げる「生活課題が顕在化する前の早期からの意思表示、意思決定の啓発」として、若い世代を含めた、より幅広い世代を対象とした「自己選択・自己決定を支える環境づくり」に取り組む必要がある。

○担い手不足や住民同士のつながりの希薄化などの地域課題の解決に向け、新たな社会資源等の発掘とともに、市民、地域、企業、NPOなど多様な主体との連携・共働による重層的な「見守り・支え合い」の仕組みづくりをさらに進めていく必要がある。

1 令和5年度の実践の中で、特徴あるもの

取組内容

上記課題の解決に向け、福岡市地域包括ケアアクションプランにおける「取組みの視点」「重点テーマ」等を踏まえ、分野横断的に各種事業を実施する。

拡充

自己選択・自己決定を支える環境づくり

◆「ACP」市民への周知・啓発

多職種等と共働したイベントの開催（9月）

- ★ミニ講座
- ★終活相談
- ★もしバナゲーム
- ★展示コーナー
- ★体験ブース（エンディングノート作成等）



キャラバン・メイト/
事業所ネットワーク/
社会福祉協議会/
在宅医療地域リーダー会等

◆専門職への周知・啓発

- ・ACP研究会、ケアマネ会等にて研修会を開催

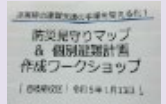
継続

「見守り・支え合い」の仕組みづくり

“オール西区”で取り組む地域包括ケアシステム

◆「超高齢化を支えるわがまちサミット」

- ・校区特性に応じて「防災」「認知症」「見守り」等をテーマに開催
- ・「災害時の要支援者支援」については関係各課と連携し「防災ワークショップ」等を開催。見守りマップや個別避難計画等の作成につなげ、地域における見守り体制の構築を支援



◆「校区福祉のまちづくりプラン」作成支援

- ・「わがまちサミット」等の開催に合わせてプランの作成を支援し、校区の取組みを「見える化」



◆事業所ネットワーク支援

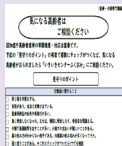
- ・交流会の開催等

拡充

虚弱高齢者等の早期発見・早期支援

◆西区版！「見守りポイントシート」活用の強化

- ・「見守りポイントシート」のさらなる周知、啓発
- ・地域における虚弱高齢者への対応等についてヒアリングを実施（公民館、コンビニ等）



継続

健康づくり・介護予防

◆よかトレ実践ステーションの創出、継続支援

- ・薬剤師会等と協力した、よかトレ実践STの創出、介護予防啓発

◆フレイル予防

- ・「フレイル予防教室」の開催やホームページ等による普及、啓発

◆ICTを活用した健康づくり・介護予防事業

- ・離島における健康づくりや、新しい生活様式への対応として、ICTを活用した講座等を実施



2 令和4年度の取組み状況

(1) 地域ケア会議の状況

① 個別支援における事例・課題等

- ・事例は、認知症の方が43%、認知症以外の精神疾患（疑いを含む）の方が26%、独居の方が55%、キーパーソン不在の方が29%。
- ・本人だけでなく家族も含め複合的な問題を抱えた事例が増えており、障がい者基幹相談支援センター、西区社協事務所、権利擁護関係機関等の会議参加が増えている。

【個別支援会議】開催回数 58回（うち介護予防型個別支援会議16回）

② 住民同士の助け合い・支えあい活動

住民主体で取り組む支えあいのまちづくり **福重**

- ・校区座談会等を重ね「まちづくりプラン」を作成し全戸配布
- ・「防災ワークショップ」を通じ、見守りマップ・個別避難計画作成
- ・区総合防災訓練ではネットワークを活用した実践訓練を実施

R4年度福岡県ひとり暮らし高齢者等見守り活動知事表彰
R4年度西区市民表彰

【まちづくりプラン】 【防災ワークショップ】 【防災訓練】



認知症声かけ訓練 **周船寺**

- ・「災害時要支援者避難訓練」と「認知症サポーター養成講座」を同時開催
- ・R2年度から町別に訓練
- ・町別に実施することでより実践的な取組みとなっている

【6町/参加者68人】



わがまちサミット **周船寺** **元岡**

- ・「支え合い・助け合いの仕組みづくり」の一環として「認知症」を学ぶとともに啓発動画を視聴
- ・アンケート結果では、周船寺校区、元岡校区ともに認知症の理解が「深まった」「やや深まった」が91%

【周船寺/参加者43人】 【元岡/参加者63人】



【高齢者地域支援会議】 会議開催校区数：12校区 延べ回数：20回
開催状況 検討内容：地域の現状・課題等の共有及び課題解決に向けた取組みの検討等

③ 在宅医療・介護連携・多職種連携の推進に向けた取組み

ACPの取組み

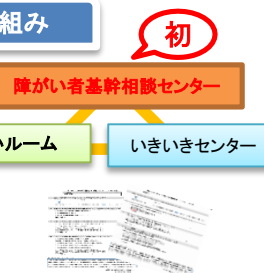
- ◆「今から始める私の終活講座」を開催
- ・市民対象に**カードゲーム**を実施。事業所ネットワーク、キャラバン・メイト等が参加



- ◆ 医師会 「おっしょ医くん」講座(3回)
- ◆ ACP研究会 研修会(1回)
- ◆ ケアマネ会 事例検討会(7回)

複合課題への取組み

- ◆ 3相談支援センター連絡会
 - ・相談を担当する3つのセンターで連絡会を開催
 - ・情報共有とともに事例を検討
- ◆ 8050問題に関するアンケート
 - ・居宅介護支援事業所を巡回し、8050問題に関するアンケートを実施



【圏域連携会議】 開催状況 開催回数：4回（第3圏域/第4圏域/第5圏域/第8圏域）
検討内容：事例検討、ネットワークづくりなど

④ 区レベルの取組み

ACP

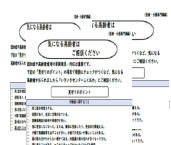
西区版！

「見守りポイント」シート

高齢者とはもより若い世代にも関心をもってもらえるよう「西区版エンディングノート」を作成し、市政だよりやHPへ掲載するとともに、公民館講座等で配布



虚弱高齢者等の早期発見・早期支援に向け、西区独自で作成した「見守りポイントシート」を配布(全118箇所)
【地域/金融機関/スーパー/コンビニ/介護医療・専門職/民生委員 など8種】



【区地域包括ケア推進会議】開催状況 区地域包括ケア推進会議：1回
部会：①在宅医療・介護部会 1回 ②権利擁護部会 1回 ③生活支援・介護予防部会 1回
検討結果等：意見交換等を通じ「制度等の周知・広報」「見守り体制の構築/要支援者の早期発見・早期支援」「担い手不足」等の課題を共有。引き続き関係機関等と連携を図り、各施策を講じながら課題解決に向け取り組んでいく。

(2) その他、在宅医療・介護連携の推進に関する取組み、事業所ネットワークの活動等

取組み	内容
在宅医療地域リーダー会議（コア会議）	5回/年 西区医師会主催（在宅医療推進体制づくりに向けた具体策の協議）
多職種連携研修会	3回/年 第1回目Web配信、第2,3回目対面にて開催 第1回：講演テーマ「福岡市の災害リスクと西日本豪雨災害の支援活動と役割」14職種、99名参加 第2回：講演テーマ「福岡市の地域包括ケアシステムの取り組み～過去・現在・未来～」16職種、130名参加 第3回：事例検討「退院支援に難渋した事例～ADL低下した環境調整と患者・家族の思いへの寄り添い～」7職種、64名参加
同一業種による連絡会開催 ①ケアマネ会 ②西区・糸島地区訪問看護ステーション交流会	①ACP研究会としての活動 2回（うち1回は研修会） ②訪問看護ステーション交流会 3回/年 ・ステーション間の連携強化のための研修及び情報共有 ・R4年度は、BCP策定に向けモデル地区として研修会等を実施【県の事業】
居宅介護支援事業所巡回	・R3年度に実施したACPに関するアンケート調査結果の共有及び複合課題「ひきこもり問題」について、現状把握及び課題抽出のため、43か所の居宅介護支援事業所を巡回
事業所ネットワークの活動等	・区内の事業所ネットワーク/9つ ・地域カフェや認知症サポーター養成講座、小学校での福祉事業への協力等、様々な活動が行われている ・活動支援として、交流会の開催や各ネットワーク定例会等への参加により行政情報等の提供を行っている

自己選択・自己決定を支える環境づくり

◆「ACP(アドバンス・ケア・プランニング)」市民への周知・啓発

(1) 目的


単身高齢者の増加や高齢者の意思決定・備えの必要性に対応するため、市民一人ひとりが元気なうちから人生の最終段階までの過ごし方を自ら考え準備できるよう、ACPの周知・啓発に取り組む。

(2) 取組み状況(令和5年度は12月末現在)

●市民への周知・啓発

① 市民向けイベント「西区オレンジフェスタ ～体験しながら学ぶ「ACP」と「認知症」～」

西区医師会、西区在宅医療地域リーダー、事業所ネットワーク、キャラバン・メイト連絡会、西区社協事務所の共催で、地域住民に対し「ACP」及び「認知症」の周知・啓発のイベントを実施。

令和5年度			
開催日	場 所	内 容	参加人数
令和5年 9月20日(水)	西保健所	○イベント ・ACPについての講話 講師:西区在宅医療地域リーダー 平野 頼子氏 ・もしバナゲーム ○体験コーナー ・コグニサイズ ・シナプソロジー® ・マイエンディングノートの作成 ○展示・相談コーナー ・福祉用具展示 ・終活相談 ・お薬相談	延79人
			

② 終活講座

令和4年度			
開催日	場 所	内 容	参加人数
令和4年 10月4日(火)	西保健所	「なにが大切？ 終活カードゲーム」 講師:西区地域保健福祉課	24人
令和4年 10月11日(火)	西保健所	「知って得する！住まい・介護のハナシ」 講師:三丁目の花や 森本 剛 氏	23人

③ おっしょ医くん講座(西区医師会)

医師の講話の後に、地域保健福祉課職員が ACP の講話を実施。

令和4年度			
開催日	場 所	内 容	参加人数
令和4年 6月30日(木)	玄界公民館 (オンライン)	「肩こり・腰痛と仲良くなろう」 講師:かつの整形外科リハビリテーション科 勝野 雷二郎 氏	14人
令和4年 7月27日(水)	壱岐南公民館	「認知症にならないために」 講師:村上華林堂病院脳神経内科 山田 猛 氏	11人
令和4年 9月8日(木)	周船寺公民館	「関節 SDGs～持続可能な関節を目指して」 講師:あさのひ整形外科クリニック 三好 敢太 氏	21人

令和5年度			
開催日	場 所	内 容	参加人数
令和5年 8月3日(木)	下山門公民館	「がんは治る！～胃がん、大腸がんの最新～」 講師:医療法人輝松会 松尾 太郎 氏	28人

④ その他の講座

令和4年度			
開催日	場 所	内 容	参加人数
令和4年 10月17日(月)	今宿公民館	「ACPについて」講師:西区地域保健福祉課 「もしバナゲーム」講師:ネットワーク西部	10人
令和5年 2月13日(月)	西陵公民館	健康なまちづくり懇談会 「ACPについて(終活カードゲーム)」	8人

令和5年度			
開催日	場 所	内 容	参加人数
令和5年 5月16日(火)	吉岐団地 6区集会所	6区ふれあいサロン支援 「いざという時のために(ACP)」	8人
令和5年 8月2日(水)	保健所	運動自主グループ支援 「ACPについて(終活カードゲーム)」	12人

⑤ 媒体を用いた普及啓発

	令和4年度	令和5年度
西区版エンディングノート配布 (R3年12月作成)	1,358枚配布	1,526枚配布 (12月末現在)
マイエンディングノート配布		
自分で決める人生ガイド配布 (R5年2月発行)		
ホームページや市政だより掲載		

●専門職への周知・啓発

①多職種連携研修会

令和4年度			
開催日	場 所	内 容	参加人数
令和4年 8月30日(火)	オンライン	「福岡市の災害リスクと西日本豪雨災害の支援活動と役割」 講師:安芸地区医師会 総合介護センター 板谷 裕美 氏	99人
令和4年 10月24日(月)	西市民センター	「福岡市の地域包括ケアシステムの取組み ～過去・現在・未来～」 講師:地域包括ケア推進課 立石 英世 氏 医療法人社団誠仁会 在宅部 党 一浩 氏	130人
令和5年 3月7日(火)	西市民センター	○講話 「退院支援に難渋した事例 ～ADL低下に対応した 環境調整と患者・家族の思いへの寄り添い～」 講師:昭和病院 櫻井 邦俊氏 ○事例検討	64人

令和5年度			
開催日	場 所	内 容	参加人数
令和5年 7月28日(金)	西市民センター	「認知症診療における多職種連携」 講師:福岡リハビリテーション病院 金森 祐治 氏	147人
令和5年 11月7日(火)	白十字病院	○講話 「急性期～生活期リハビリテーションの実際」 講師:白十字病院 リハビリテーション部 福井 哲 氏 ○事例検討 「もとの生活に戻りたい～K・Iさんの思いをかなえる為に～」	95人

② 居宅介護支援事業所巡回

	内 容
令和4年度	43 か所を訪問。R3 年度に実施した ACP に関するアンケート結果を共有し、情報提供と取組みについて検討。
令和5年度	35 か所を訪問。エンディングノートの周知啓発及びACPに関する取組みのヒアリングや助言等を実施。

虚弱高齢者の早期発見・早期支援

◆西区版！「見守りポイントシート」活用の強化

(1)目的 市民や医療・介護関係者等様々な機関向けに作成した「見守りポイントシート」を活用し、虚弱高齢者や支援を要する高齢者の早期発見・支援につなぐ。

(2)内容 令和2年度に「見守りのポイントシート」を対象ごとに8種類作成。
 (地域役員 / 医療専門職 / 金融機関 / スーパー・コンビニ / タクシー
 公共交通機関 / 公民館 / 行政職員)
 主に、いきいきセンター(以下、センター)が各所を訪問し配布している。

(3)取組み 〈配布状況〉

	令和3年度	令和4年度	令和5年度※
配布か所 (枚数)	138 (-)	118 (-)	199 (597)

※令和5年度は4~12月

〈配布か所内訳(令和5年度199か所)〉

・スーパー・コンビニ	45か所
・居宅介護支援事業所・介護事業所	29か所
・公民館	25か所
・医療機関・歯科・薬局	17か所
・金融機関・郵便局	15か所
・民生委員児童委員	8か所
・警察(交番)	8か所
・公共交通機関	5か所
・その他:新聞販売店、牛乳販売店 ふれあいサロン、町内会等	47か所

〈令和5年度取組み〉

地域ネット支援員とセンターで区内の公民館を巡回し、気になる高齢者への対応等についてヒアリングを実施。新たな配布先として、新聞販売店や牛乳販売店等の提案があり、シートを配布したところ、好意的な反応があり今後のスムーズな連携が期待できる。

また、コンビニを重点的に巡回し、気になる高齢者の見守りの現状と今後の連携について確認した。巡回後、コンビニから気になる高齢者についてセンターに相談が入り、支援に繋がった事例があった。

健康づくり・介護予防等

[表1] 介護予防事業

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度 (4~11月)	
	回数等	参加者数	回数等	参加者数	回数等	参加者数
生き活き講座	111回	1,668人	200回	3,301人	197回	3,019人
認知症予防教室(~R4年度)	14回	129人	16回	175人		
フレイル予防教室(R5年度~)						
生活習慣病予防教室	41回	899人	46回	1,454人	41回	964人
(委託事業) 地域リハビリテーション 活動支援事業	派遣中止		3回	36人	13回	143人
(委託事業) 介護予防教室	45回	286人	45回	341人	30回	208人
訪問型介護予防事業	実1人	延1人	実施なし		実1人	延3人

【再掲】 離島におけるICTを活用した健康づくり事業

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度 (4~11月)	
小呂島	9回	92人	12回	98人	8回	65人
玄界島	5回	53人	9回	112人	6回	58人

[表2] よかトレ実践ステーション登録数

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (4~11月)
登録数	116か所(内25施設)	124か所(内30施設)	133か所(内35施設)

[表3] ロコモ予防サロンの開設状況

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開設数	16か所	16か所	13か所
サポーター数	166名(R元年5月現在)		90名

◆認知症啓発等

【表4】 認知症に関する市民、専門職の啓発

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度 (4~11月)	
	回数	参加者数 (サポーター 養成数)	回数	参加者数 (サポーター 養成数)	回数	参加者数 (サポーター 養成数)
認知症サポーター養成講座	11回	425人 (376人)	19回	843人 (760人)	18回	636人 (607人)
【再掲】ステップアップ講座	3回	39人	3回	47人	1回	15人
【再掲】小中学生を対象にした講座	4回	318人 (315人)	6回	591人 (566人)	5回	309人 (295人)

(1) 認知症講演会

令和4年度

実施日	対象	内容	参加者数
9月28日(水) (ハイブリッド)	市民	認知症の基礎知識、認知症の治療などについて 講師:今津赤十字病院 勝治 一夫 氏	31人

(2) 認知症キャラバン・メイト支援

令和4年度

実施日	対象	内容	参加者数
10月28日(金) 12月20日(火) 2月1日(水)	キャラバン・メイト実行委員	○西区キャラバン・メイト実行委員会 立ち上げたフェイスブックをより活用できるよう使い方等 について検討実施	21人
1月11日(水)	キャラバン・メイト	○西区認知症キャラバン・メイト連絡会 ・西区の認知症に関する取り組みについて ・西区キャラバン・メイト連絡ツールについて ・認知症サポーター養成講座の実演	22人

令和5年度

実施日	対象	内容	参加者数
4月14日(金)	キャラバン・メイト実行委員	○西区キャラバン・メイト実行委員会 認知症キャラバン・メイト連絡会の内容及び進め方につ いて検討実施	7人
8月2日(水)	キャラバン・メイト	○西区認知症キャラバン・メイト連絡会 連絡会で今年度初めて認知症サポーター養成講座を実 施したキャラバン・メイトより体験談を発表	21人

”オール西区”で取り組む地域包括ケアシステム

〈周船寺校区〉

■地域カフェ（令和5年5月27日オープン）

（名称）来てみんしゃい♪「お茶の間カフェに」

（場所）周船寺公民館

（主催）周船寺校区 自治協議会/社会福祉協議会 （共催）周船寺公民館

（協力）老人クラブ連合会/青少年育成連合会/こども会育成連合会

- ・「地域カフェ実行委員会」を立ち上げ、令和5年度は試行的に3回開催予定
- ・オープン当日はマリンバとピアノの演奏で幕を開け、赤ちゃんから高齢者まで総勢129人が参加。「とても楽しく過ごすことができた」「皆さんの笑顔が印象に残った」「知らない人とも話せて楽しかった」「これからも続けてほしい」などの感想が寄せられた。



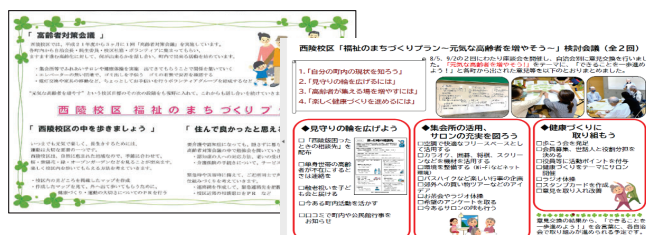
〈西陵校区〉

■福祉のまちづくりプラン～元気な高齢者を増やそう～ 検討会議

テーマ「自分の町内の現状を知ろう」「見守りの輪を広げるには」

「高齢者が集える場を増やすには」「楽しく健康づくりを進めるには」

- ・上記テーマで町別にグループワークを実施
- ・8/5 校区の現状の共有と意見交換（参加者52人）
- ・9/2 前回に続き意見交換（参加者53人）
「できることを一歩すすめてよう！」と題して、「優先して取り組みたいこと」「やってみたいこと」を話し合い、その後、町別に発表
- ・出された意見等を共有し、「校区福祉のまちづくりプラン」として整理(既存プランの更新)



〈荻校区〉

■ 行方不明者搜索訓練（模擬訓練）（令和5年11月18日）

（主催）事業所ネットワーク「荻校区高齢者等の地域ケアを考える会」

（共催）荻公民館（後援）荻校区 自治協議会/社会福祉協議会/民生委員児童委員協議会

- ・ 公民館を起点に、地域住民、自治会・町内会長、民生委員が参加して4年振りに実施（参加者43人）。訓練に先駆け、11/4 認知症サポーター養成講座を実施（参加者35人）
- ・ 訓練当日は、1グループ5～7人に分かれて3人の行方不明者役を搜索。発見後は各グループごとに声かけ訓練、その後、全体での振り返りが行われた。
- ・ 搜索時は、LINEオープンチャットを利用した行方不明者情報の共有を試験的に実施、荻校区における見守りネットワークの再構築に取り組まれている。

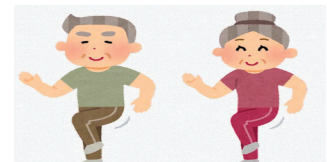
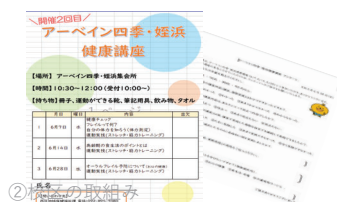


〈内浜校区〉

■ 地域・医療・介護のネットワークづくり（URアーベイン四季・姪浜）

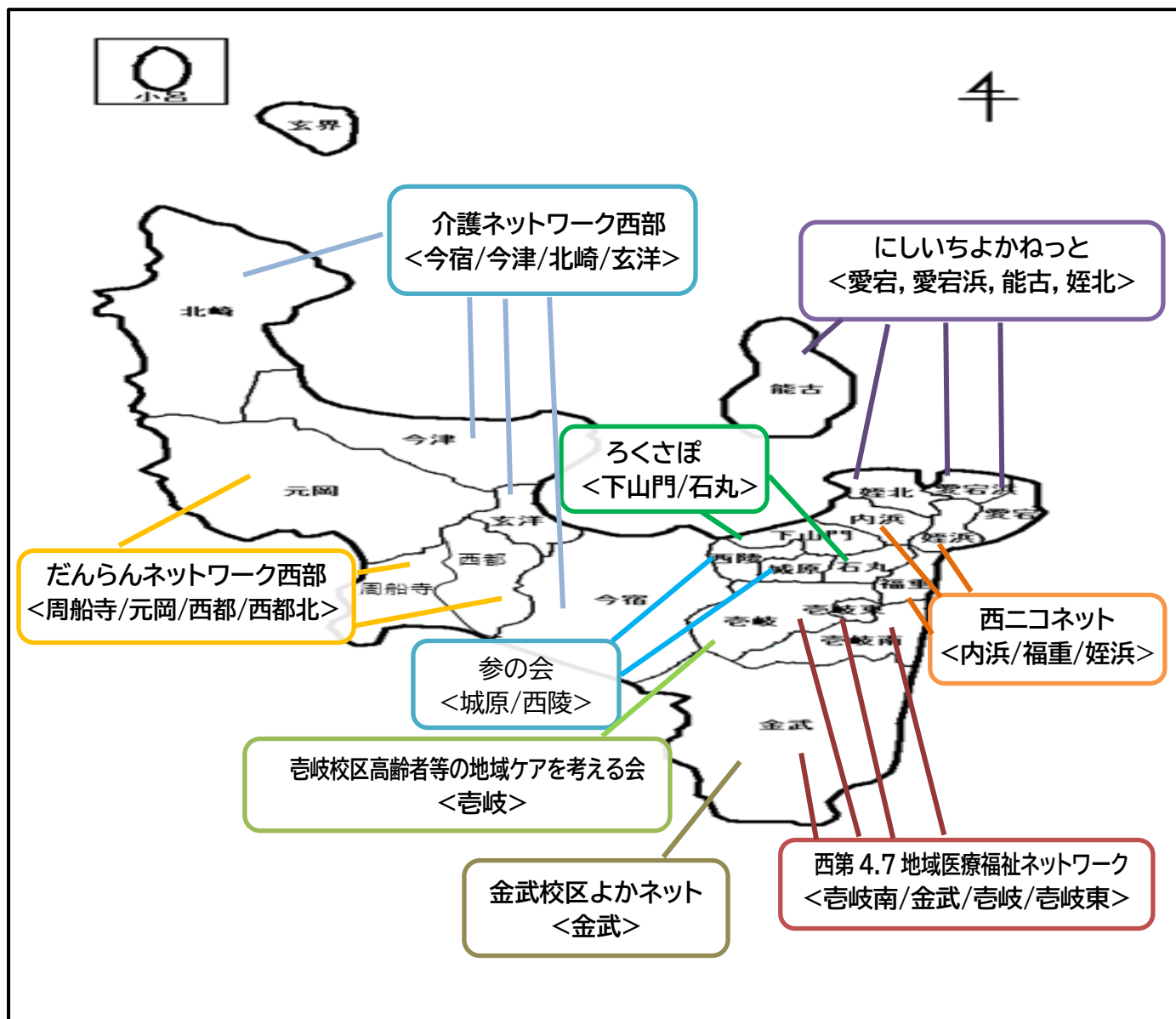
（課題）「URアーベイン四季・姪浜」は高齢者世帯が多く、独居高齢者世帯は校区内最多であるものの、「自治会未加入」「民生委員欠員」の地域。住民ニーズは潜在化

- ・ 令和4年4月、「UR相談会」を開催（株）URコミュニティ・いきいきセンター共催）。独居の高齢者の参加が多く「自治会がなく見守りがいいから不安」「高齢者の集いの場がない」などの声あり。8月、課題の解決に向け、高齢者地域支援会議を開催（UR・いきいきセンター・区）。
- ・ 11月、住民ニーズの把握を目的として「アーベイン四季・姪浜健康講座」を実施。参加者からは「毎月開催してほしい」「近くの集会所で自主的に集まれる場がほしい」などの声あり。
- ・ 令和5年度「ふれあいサロン」として立ち上げ。医療機関等との連携もあり、継続開催につながっている。



◆事業所ネットワークの活動状況

- 医療や介護等の専門スタッフが連携し、地域の健康づくりや生活支援などに協力
- 西区内9つのネットワークが活動（R5.12月末時点）



- コロナ禍で活動を休止していた事業所ネットワークも、昨年度から徐々に活動を再開
- 定例会の開催や、「地域カフェ」「認知症サポーター養成講座」「福祉体験学習」「民生委員研修」「健康講座」などの、企画から講師派遣、運営などの様々な活動のほか、組織体制の再構築や、圏域を超えたネットワーク間の連携など、新たな取り組みも行われている。
- 9/20に開催した区のイベント「西区オレンジフェスタ」では、専門職として企画の段階から参画、当日は、「介護予防運動」「福祉用具展示」「お薬相談」など、各ブースの運営に協力いただいた。

②高齢者の相談状況等

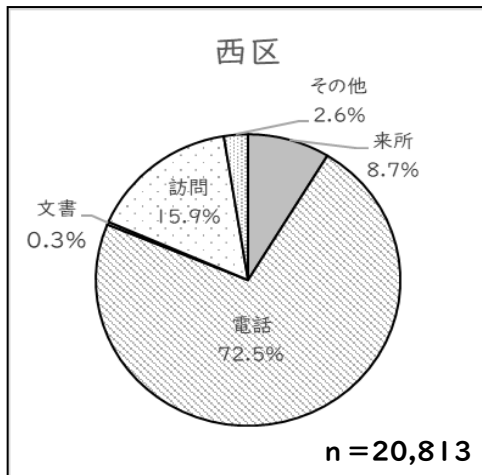
資料2

[表1] 相談件数

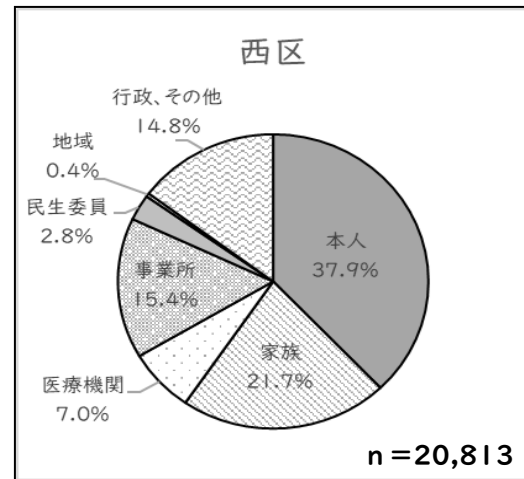
(単位：件)

	令和3年度		令和4年度		令和5年度 (11月末現在)	
	実数	延数	実数	延数	実数	延数
西区	4,027	27,621	4,340	29,250	3,508	20,813
福岡市	27,041	189,029	29,678	213,056	23,159	143,585

[図1] 令和5年度 相談方法の内訳



[図2] 令和5年度 相談者の内訳



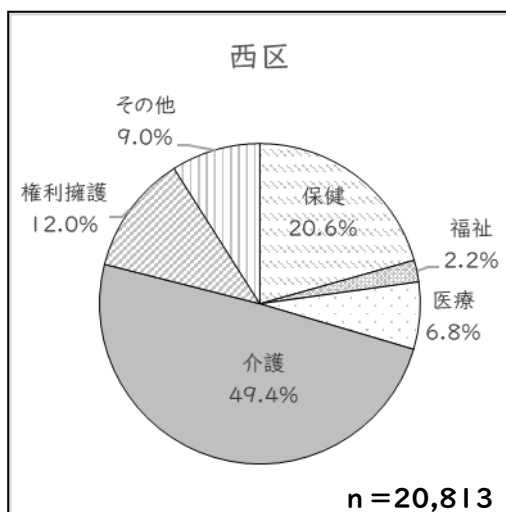
[表2] 令和5年度 相談内容 (第1主訴)

(単位：件)

	令和3年度		令和4年度		令和5年度 (11月末現在)	
	西区	福岡市	西区	福岡市	西区	福岡市
保健	4,981	31,673	5,505	39,223	4,293	25,492
福祉	1,155	8,290	809	7,743	455	4,478
医療	2,206	17,020	2,419	19,081	1,411	11,392
介護保険	14,705	93,927	15,399	103,987	10,276	71,139
権利擁護	1,803	19,540	2,518	22,788	2,505	17,252
その他※	2,771	18,579	2,600	20,234	1,873	13,831

※その他：家族関係、安否確認、民間サービス、住宅など

[図3] 令和5年度 相談内容 (第1主訴)



【表3】 権利擁護に関する相談内容（重複あり）

（単位：件）

	令和3年度		令和4年度		令和5年度 (11月末現在)	
	西区	福岡市	西区	福岡市	西区	福岡市
虐待	682	9,983	1,377	12,951	1,138	10,053
セルフネグレクト	1	239	6	264	72	190
DV、家庭内暴力	142	1,452	333	1,706	336	1,320
金銭（財産）管理	593	4,854	543	4,927	515	3,478
金融・消費・ 契約問題	113	1,400	166	1,401	161	1,121
成年後見制度	439	3,595	399	4,086	428	3,133
制度に関すること (成年後見制度以外)	70	419	39	331	35	305
保護（虐待、DV、家 庭内暴力等以外）	8	144	20	260	29	194
その他	180	1,586	234	2,195	404	1,452
計	2,228	23,672	3,117	28,121	3,118	21,246

【表4】 虐待の内訳（複数選択）

（単位：件）

	令和3年度		令和4年度		令和5年度 (11月末現在)		
	西区	福岡市	西区	福岡市	西区	福岡市	
内 訳	身体的虐待	323	5,066	582	6,955	498	4,941
	放任・放棄	122	1,728	232	2,471	131	1,665
	心理的虐待	122	1,995	210	2,461	186	2,134
	性的虐待	0	11	1	8	5	55
	経済的虐待	76	1,315	186	1,721	89	1,317
計	682	10,115	1,211	13,616	909	10,112	

【表5】 高齢者虐待の相談・虐待認定数

（単位：件）

	令和3年度		令和4年度		令和5年度 (11月末現在)
	西区	福岡市	西区	福岡市	西区
相談数	59	347	71	416	42
虐待認定数	9	113	14	151	12

【表6】 高齢者虐待の相談者内訳

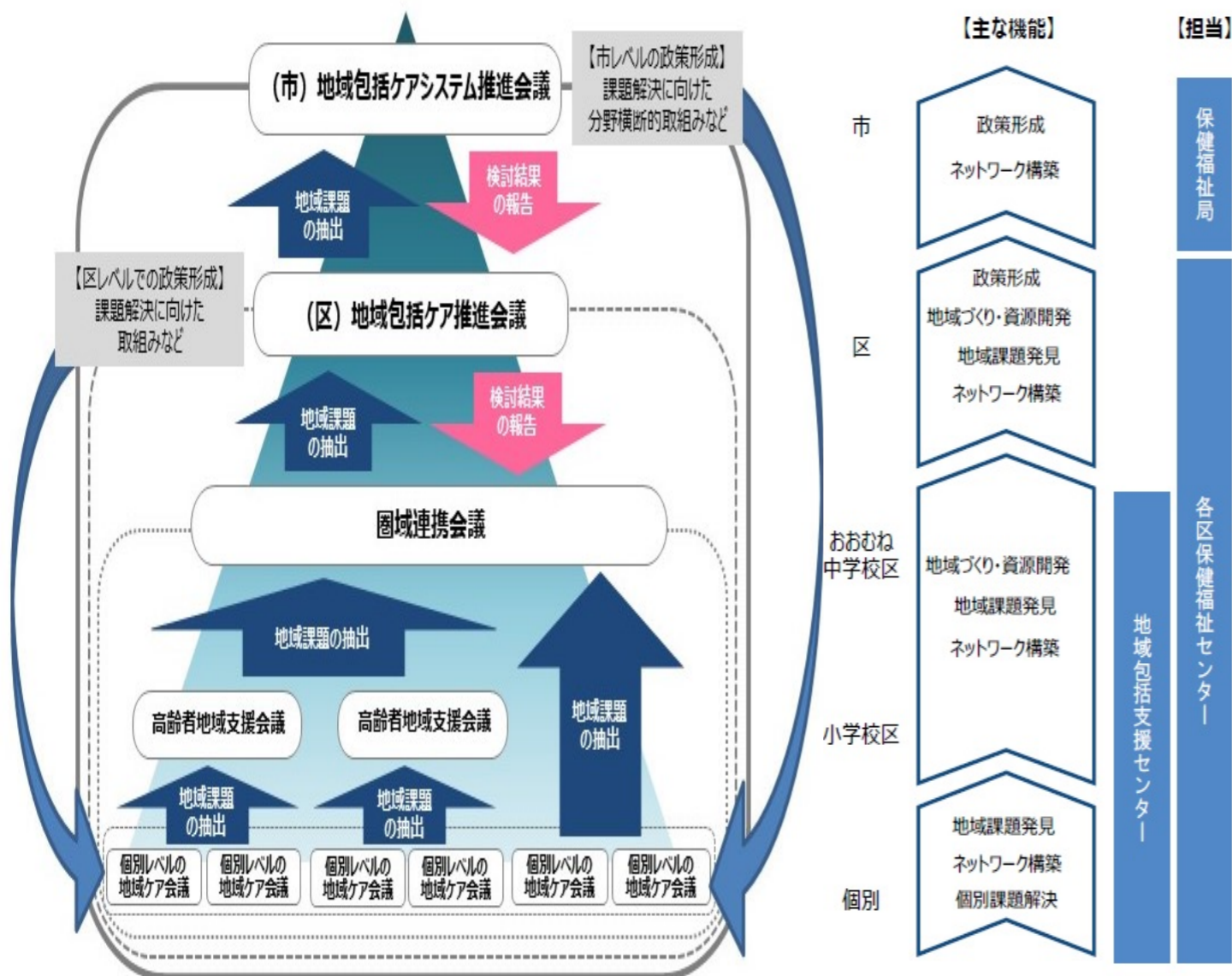
（単位：件）

	令和3年度		令和4年度		令和5年度 (11月末現在)
	西区	福岡市	西区	福岡市	西区
被虐待者	1	13	4	14	1
親族	5	24	3	18	5
虐待者	0	1	2	11	0
警察署	4	18	6	43	4
介護保険関係事業者	33	160	41	186	18
行政職員等	4	24	6	18	7
民生委員等地域役員	1	16	2	11	1
その他（病院等）	6	44	7	58	6
計	54	300	71	359	42

③地域ケア会議開催状況

◆開催状況<区レベル>

会議		4年度	5年度
区地域包括ケア推進会議		令和5年2月	令和6年2月
部会	在宅医療・介護部会	令和4年12月	令和5年11月
	権利擁護部会	令和4年12月	令和5年10月
	生活支援・介護予防部会	令和4年11月	令和5年11月



◆校区別開催状況

圏域	西区	圏域連携会議		高齢者地域支援会議		個別支援会議 ※()内は 介護予防型個別支援会議	
		4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度
1	愛宕	0	0	20	9	58(16)	35(12)
	愛宕浜			0	1	6(1)	3(1)
	小呂			1	0	3(1)	1
	姪北			0	0	1	0
	能古			1	0	0	4(1)
2	内浜	0	0	1	0	5(2)	0
	玄界			2	0	1	4(2)
	福重			0	0	1	0
3	姪浜	1	1	3	3	0	1
	城原			0	0	4(1)	1
4	西陵	1	0	0	1	3(1)	2(1)
	吉岐南			1	1	7(1)	3(1)
5	金武	1	1	1	1	2(1)	1(1)
	今宿			2	0	0	0
	玄洋			0	1	1(1)	3(1)
6	北崎	0	0	0	0	1(1)	0
	今津			0	0	2	0
7	石丸	0	0	2	1	4(2)	2(1)
	下山門			0	0	4	3
8	吉岐	1	0	2	0	2(1)	2(2)
	吉岐東			0	0	2(1)	2
	周船寺			2	0	4(2)	0
	元岡			2	0	1	1(1)
	西都			0	0	0	0
	西都北	-		-	0	-	0

5年度は11月末現在

圏域連携会議

- ・圏域における多種連携のためのネットワーク構築や、個別支援会議で抽出された地域課題を検討
- ・事例検討を通じ、専門職等の質の向上を図る

高齢者地域支援会議

- ・地域課題の解決を図るため、校区等における地域の共助力を醸成するネットワークを構築
- ・個別課題の蓄積等により地域課題を発見し、解決に向けた取組み等について検討

個別支援会議

- ・事例に応じた多職種による個別の連絡調整とタイムリーな支援を検討

◆専門部会の開催状況

資料3-1

(令和5年度)

(1-1)在宅医療・介護部会

開催日	内 容	出席者数
令和5年11月20日	1 地域包括ケアシステムの推進 ①地域ケア会議の開催状況 ②西区における在宅医療・介護に関する取組みについて 2 意見交換 「各団体の取組み状況について」 3 事例検討 「身寄りのない人への支援について」	18人
【主な意見】 ●ACPIに関しては、市民にどう広げていくかが課題。オレンジフェスタでは市民向けにACPの講話、もしバナゲームを実施。考えるきっかけとしてももしバナゲームが効果的だった。これからも市民向けのACPをどのように啓発していくかを考え取り組んでいく。 ●身寄りがない方で救急搬送されるケースが増えている。多職種と連携しながら今後の支援を考えていく必要がある。 【令和6年度の目標】 ①ACPや意思決定支援の取組みの推進 ②キーパーソン不在や8050問題等、複合的な課題を抱えた高齢者への支援力向上		

(1-2)権利擁護部会

開催日	内 容	出席者数
令和5年10月31日	1 報告事項 地域包括ケアアクションプラン2021～2026について 西区地域包括ケアに関する取組みについて 西区の高齢者相談状況 2 意見交換 「複合課題を抱える高齢者への関わりについて」	20人
【事例をとおして出た主な意見】 ●高齢者と同居している障がいのある子に関する相談が増えてきている ●高齢者と障がい者で（相談先としての）入口がハッキリと分かれてしまう為、縦割りにならないよう関係者が集まって話し合っていないといけない。 ●関係者が連携して支援していくことが必要。 ●ケースによっては、高齢者本人・配偶者・子 それぞれに個別対応が必要。 ●支援者は、高齢者・家族それぞれの思いを確認し、役割分担しながら支援を進めていくことも必要。 ●多職種が連携し、もっと頻回に話し合いの場を持つ必要があり、そのような場があるとよい。 ●複合課題を抱える高齢者の支援は、困難なことが多い。この事例等を参考に、また連携を深めていきたい。		

(1-3)生活支援・介護予防部会

開催日	内 容	出席者数
令和5年11月29日	(1) 生活支援・介護予防の取組み状況について（報告） ①地域ケア会議の開催状況 ②校区の取組み事例 ③健康づくり・介護予防 ④社会福祉協議会の生活支援・介護予防 ⑤事業所ネットワークの活動状況 (2) 意見交換 「地域課題の検討について」	20人
【主な意見】 ●地域の担い手が高齢化している。若い力を地域にどう向けるか。働いている人にシフトしながら、働いていても出来る活動を考える必要がある。 ●現状を維持しながらいかに若い人にシフトしていくかが課題。 ●サロンは参加者が減っており、ボランティアも高齢化。今後どうなるのかと思いながら活動している。 ●地域で事業を行うが、5類になっても人数が集まらない。来られる人も固定化している。 ●校区内でも地域で状況が異なる。高齢化率等もかなり違う。また町内会に入っていない人との関わり方について難しいと感じている。 ●今一番元気なのは女性、地域のことには一番詳しいのは民生委員である。担い手不足解消に女性や民生委員に声かけをしている現状である。 ●今は「ロコモ」や「フレイル」「ユマニチュード」など横文字が多い。わかりやすい広報が必要である。 ●専門職が地域課題を知る方法はないだろうか。知ることができれば、現在活動をしていなくても、地域のネットワークに加わるためのきっかけにもなり、活動にも活かせるのではないか。		

◆圏域連携会議の開催状況

資料3-2

【参加者等】

医師、歯科医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、訪問看護師、看護師、医療ソーシャルワーカー、（管理）栄養士、歯科衛生士、介護支援専門員、介護サービス事業所、自治協議会、民生委員・児童委員、その他地域団体、区基幹型相談支援センター、区社協事務所 等

(令和4年度)

事務局	日時	会場	参加人数	内容等
西第3	6月16日(木) 14:00~16:00	Fコープ生活協同組合上山門店組合員ホール	22人	<ul style="list-style-type: none"> 事例検討「独居・認知力低下がある方の内服管理の支援」 連携について検討 事業所ネットワークについて説明
西第5	9月13日(火) 15:00~16:30	さいとぴあ	31人	<ul style="list-style-type: none"> 福岡市ひきこもり成年地域支援センターの活動報告 事例検討
西第4	1月27日(金) 15:00~16:30	戸切人権まちづくり館	40人	<ul style="list-style-type: none"> 各相談窓口の紹介 グループワーク「複合課題を抱えた本人・家族の支援について」
西第8	3月22日(水) 13:00~14:00	さいとぴあ	38人	<ul style="list-style-type: none"> 事例紹介 グループワーク、発表

(令和5年度)

事務局	日時	会場	参加人数	内容等
西第5	9月12日(火) 15:00~16:30	さいとぴあ	81人	<ul style="list-style-type: none"> 8050問題の事例をもとにシンポジウム まとめ
西第3	9月27日(水) 14:30~16:00	城原公民館	39人	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネジャーの仕事・役割について 民生委員の活動・役割について 意見交換会

〈会議で出された意見・課題等〉

- 関係機関（病院、薬局、居宅介護支援事業所）が連携が円滑になるためのツール（担当者を記載したカード等）の作成を検討する。
- 本人や家族が困っていること等を把握し、必要な関係機関に繋げていく必要がある。
- 支援者側がサービスの導入等を急いでもうまいがちであるが、先入観を持たず、当事者の「エネルギー力」「強み」を踏まえた支援のあり方を、多職種連携し検討することが必要である。

◆高齢者地域支援会議の開催状況

資料3-3

【参加者等】 自治協議会、民生委員・児童委員、校区社会福祉協議会、その他地域団体、
区社協事務所、いきいきセンター等

(令和4年度)

事務局	日時	会場	参加者数	内容等
区 地域保健福祉課	5月15日 10:00~12:00	愛宕浜公民館	36人	ふれあいネットワーク研修会 ・避難行動要支援者個別計画作成について ・ふれあいネットワークについて
地域包括支援 センター	5月24日 14:30~16:00	姪北公民館	20人	姪北校区 民生委員と高齢者に関する機関との検討会 ・各関係機関の紹介 ・事例紹介、意見交換
地域包括支援 センター	5月26日 14:00~15:00	石丸公民館	19人	石丸校区民生委員研修 ・事例紹介 ・グループワーク
区 地域保健福祉課	5月28日 13:00~15:00	周船寺公民館	21人	周船寺校区地域会議 ・地域包括ケアシステムの推進について ・グループワーク
区 地域保健福祉課	7月25日 10:30~11:30	能古公民館	23人	能古校区高齢者支援会議 ・能古校区アンケートについて ・フレイル予防について ・買い物支援について ・意見交換
区 地域保健福祉課	8月23日 19:00~20:30	福重公民館	30人	福重校区社協 福祉座談会 ・福重校区の取組みについて ・防災の取組みについて ・グループワーク
地域包括支援 センター	8月10日 10:00~11:00	西保健所	4人	内浜校区 アーベイン四季・姪浜における地域課題について検討
区 地域保健福祉課	9月16日 10:30~11:30	金武公民館	33人	金武校区社協 理事会 ・防災の取組み ・今年度の取組み（意見交換）
区 地域保健福祉課	10月24日 14:00~15:50	周船寺公民館	43人	周船寺校区/西都校区 「超高齢化を支えるわがまちサミット」 ・認知症講話 ・認知症啓発映画視聴
区 地域保健福祉課	11月22日 19:00~20:30	福重公民館	24人	福重校区社協 福祉座談会 ・地域の「見守りの仕組み」を活かした防災の取組み ・意見交換
地域包括支援 センター	12月12日 14:30~16:00	元岡公民館	29人	元岡校区高齢者地域支援会議 「新任民生委員と関係機関との交流会」
区 地域保健福祉課	12月13日 14:00~15:40	今宿公民館	29人	今宿校区社協 福祉協力員研修 ・認知症講話 ・認知症啓発映画視聴
区 地域保健福祉課	1月13日 13:30~16:00	吉岐南公民館	49人	吉岐南校区ふれあいネットワーク交流会 ・ふれあいネットワーク「班別活動報告」について ・防災見守りマップ&個別避難計画作成ワークショップ
区 地域保健福祉課	1月28日 18:00~20:00	JA元岡支店	63人	元岡校区「超高齢化を支えるわがまちサミット」 ・認知症講話 ・認知症啓発映画視聴
区 地域保健福祉課	1月29日 10:00~11:30	今宿公民館	39人	今宿校区社会福祉協議会 意見交換会 ・講話 「高齢化社会の課題と地域及び民生委員活動等の関わり」 ・活動報告 ・情報交換
地域包括支援 センター	2月7日 13:30~14:30	西保健所	5人	内浜校区 アーベイン四季・姪浜における地域課題について検討
区 地域保健福祉課	2月22日 13:00~14:40	石丸公民館	24人	石丸校区民生委員・児童委員研修 ・認知症講話 ・認知症啓発映画視聴
地域包括支援 センター	2月22日 14:00~14:45	吉岐公民館	27人	吉岐校区 高齢者地域支援会議 ・各機関の紹介 ・事例紹介「民生委員との連携について」
区 地域保健福祉課	2月22日 19:00~20:30	福重公民館	37人	福重校区社協 福祉座談会 ・これまでの取組みについて ・意見交換「高齢者等の集いの場について」

地域包括支援センター	3月22日 14:15~15:15	吉岐公民館	42人	吉岐校区 高齢者地域支援会議 「見守りが必要な高齢者の支援について」 ・事例検討 ・捜索訓練について
------------	----------------------	-------	-----	---

〈会議で出された意見・課題等〉

- ・要援護者支援は自治会単位。校区社協のつながる活動を活かしながら協力できるのではないかな。
- ・災害が起こった後ではなく起こる前のPR、減災・防災のPRも必要。
- ・コロナ禍でも避難訓練や声掛け訓練、青パト、ふれあいサロンなどできていることもある。
- ・大学生との交流や3世代交流会の開催、気軽に誰でも立ち寄れる居場所づくりに取り組んでいきたい。
- ・介護保険サービス自体を知らない人が多い。機会を捉え周知を図っていく必要がある。
- ・関わりを拒否される人、地域活動に参加されない人への情報発信等をどうするか。
- ・認知症の人こそフォローが必要。複数人での対応が必要。
- ・実際の災害時に計画通りできるかという意見もある。個人それぞれの自覚、自助意識の促進が必要。
- ・啓発動画を視聴して、見守ることの大切さを学んだ。
- ・8050問題等も増えている。問題が複合化しており、それぞれに支援が必要。

(令和5年度)

事務局	日時	会場	参加者数	内容等
地域包括支援センター	4月27日 13:00~14:20	石丸公民館	16人	石丸校区民生委員・児童委員研修会 ・事例検討 ・事例の経過について説明 ・社会資源紹介
区 地域保健福祉課	5月13日 17:10~18:30	愛宕公民館	51人	愛宕校区「わがまちサミット」 「助け合い・支え合いの仕組みづくりについて」 ・社会福祉協議会/社協の取組みについて ・取り組み事例の紹介
地域包括支援センター	6月23日 14:30~16:00	戸切人権まちづくり館	26人	「吉岐南校区で災害が起きた場合のそれぞれの取組み、一人暮らしに不安がある高齢者に対する支援について」 ・ハザードマップの確認 ・避難場所の確認 ・事例検討
区 地域保健福祉課	7月11日 19:00~20:40	玄洋公民館	33人	玄洋校区ふれあいネットワーク研修会 ・講話「認知症を学び地域で支えよう」 ・認知症啓発映画視聴
区 地域保健福祉課	7月27日 19:00~21:00	福重公民館	21人	福重校区 社協福祉座談会 ・講話「認知症を学び地域で支えよう」 ・認知症啓発映画視聴
区 地域保健福祉課	9月2日 19:30~21:00	西陵公民館	53人	西陵校区「福祉のまちづくりプラン～元気な高齢者をふやそう～」検討会議 ・意見交換 ・発表「できることを一歩すすめよう！」
区 地域保健福祉課	9月25日 19:00~20:30	福重公民館	33人	福重校区ネットワーク会議 「地域の『見守りの仕組み』を活かした防災の取組み」 ・地域の見守りマップづくり ・意見交換 ・今後の取組みについて
地域包括支援センター	10月27日 14:30~16:00	戸切人権まちづくり館	19人	「金武校区で災害が起きた場合のそれぞれの取組み、独居で災害に不安がある高齢者に対する支援について」 ・ハザードマップの確認 ・避難場所の確認 ・事例検討
区 地域保健福祉課	11月27日 19:00~20:30	福重公民館	25人	福重校区社協 福祉座談会 ・ユマニチュード地域講座 ・認知症に関する相談機関

〈会議で出された意見・課題等〉

- ・「見守り」ではなく「触れ合う」「意識し合う」といった住民の意識が大事である。
- ・認知症の方を地域で見守っていただけたら、支える家族の助けになる。地域で温かく見守ることが大事。
- ・要支援者以外に、独居など気になる住民もチェックしている。
- ・次年度以降も、定期的に集まり情報交換をしながら、見守りマップ更新等を行って行きたい。
- ・災害が予想される場合は、家族の所に避難することやショートステイなどを検討する。

◆個別支援会議の開催状況【令和3年度～令和5年11月末】

資料3-4

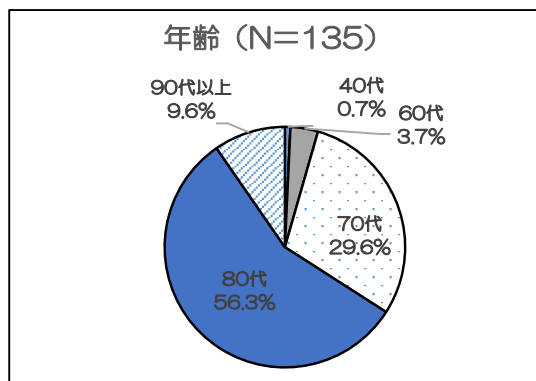
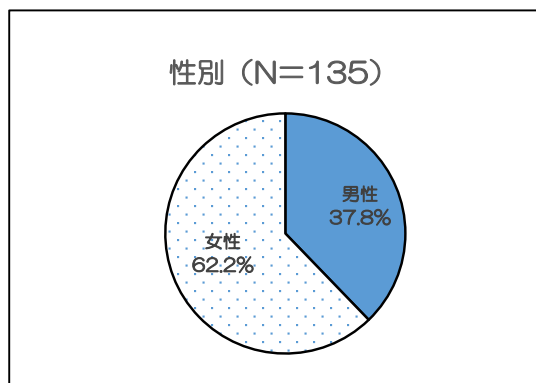
個別支援会議とは

個別ケースの支援について、情報共有及び課題解決のために医療・介護等の多職種や地域住民と一緒に具体的な検討を行う会議。

・複合課題を抱える事例もあり、障がい者基幹相談支援センター、西区社協事務所、権利擁護関係機関等からの会議参加が増えている。

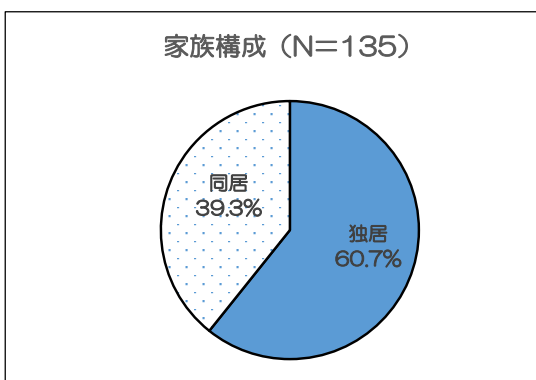
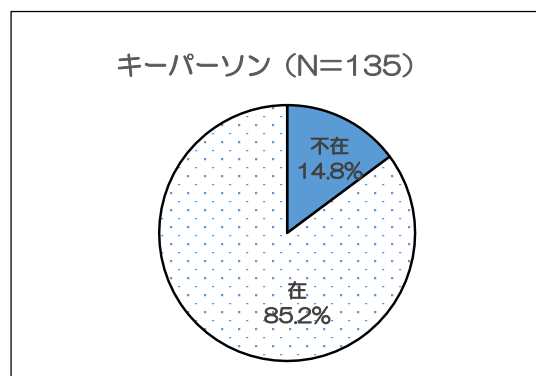
(表1) 対象者の性別及び年齢

	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (11月末)	計
総数	42	58	35	135
男性	17	21	13	51
女性	25	37	22	84
40代	0	1	0	1
50代	0	0	0	0
60代	2	3	0	5
70代	10	15	15	40
80代	27	34	15	76
90代以上	3	5	5	13



(表2) 対象者の状況等(複数回答)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (11月末)	計
総数	42	58	35	135
介護認定有	35	54	31	120
介護認定無	7	4	4	15
独居	27	31	24	82
同居	15	27	11	53
キーパーソン在	37	48	30	115
キーパーソン不在	5	10	5	20



(2) 意見交換

テーマ : 「ACP の普及・啓発について」

※ACP とは、将来の変化に備え、自分が大事にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを受けたいか等を、自分自身で前もって考え、家族や周囲の信頼する人と繰り返し話し合い、共有しておくことです。